

佐藤 梨香

子育てという言葉を持ち出され、子供を持たなかった私はどうやって体かわそうか、そればかりを考えている。どこをどう通ってここに辿りついたか、なぜなのか文字に書くことが恐ろしく、突き詰めたくないんだ絶対に。この展覧会の趣旨に沿わなくても、作品と整合が取れなくても、少なくとも今はこのまま曖昧なままやり過ごしたいのだ。それをごまかしという。今はしたいことだけを最短距離で楽しみたい。それを逃避という。

人は自分自身の過去からできている。過去はおおよそ、子供時代の満たされなかった感情の蓄積からできている。私の浅い経験から察するに、来し方にとらわれず自由に生きるには、そんな我が身を上から下から知ることぐらいしか方法がないようだ。私はそれをやり遂げた！と大きな声を上げられたのなら、こうして惨めに作品は作ってはいまい。ところがどっこい、本当は私はすでに大発見をしているのだけれど、あえて秘しています。というのはやっぱり嘘で、ただ描きたいから絵を描いている。勘弁してください、ただただ作っていたいのです。私のかわいい青ちゃんが、子どもの姿で無邪気にはしゃぐのを他人のように遠くから眺めていたいのです。

青ちゃんとは、私が作品にやたらと描きたがる一種のキャラクターのようなもので、青色をしたヒトガタで、素っ裸でまるで赤ちゃんのようだがそうじゃないよ、という意味です。子どもみただけでそうじゃない、何でもよかったんだけど、だって誰だって形あるものが好きでしょう？ みんなどうせ私の作った意味なんて気にしてない、それぞれ自分勝手なイメージに浸りたいんだ、そうだ私は知っている。だから私は隠れてやるんだ、本当のことなんて言わないんだ、たとえこの口が裂けようとも！

さとう・りか

1965年生まれ、1988年多摩美術大学絵画科油画専攻卒業。裸の赤ん坊のような風貌をした『青ちゃん』、専業主婦『とし子さん』などのキャラクター達が登場する家庭の風景を描いている。既婚。

<http://sato-rika.com/>